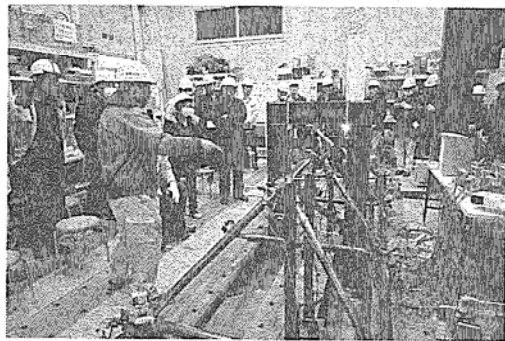


## 鋼構造実験見学会開く

建築学会中国 岡山理科大で

【岡山】日本建築学会中国支部は15日、岡山市の岡山理科大学構造実験室で鋼構造実験見学会を開催、鉄骨フレームや研究者、学生など約30人が参加した。共催は協同組合広島県鉄構工業会、日本建築構造技術者協会。17回目となる見学会のテーマは「端部扁平加工鋼管を用いた立体トラスの鉛直荷重実験」。岡山理科大の中西啓二教授らが、岡山県ドファブ・モリヤテクノから委託を受けて進めている立



見学会の様子

体トラス構造の構造安全性に関する研究の一環。2017年度までの実験をベースに、立体トラスに垂直方向の力を加え、座屈耐力などを計測した。モリヤテクノのSKYトラスは、円形鋼管を使った立体トラス構造で、経済性・施工性を高めるため、鋼管の端部をプレス加工し、平たくした上でボルト穴を開け、高力ボルトを使って接合している。実験で地震等がこの構造に与える影響の調査やデータ収集を行い、構造安全性に関する資料作成に活用するとともに、新たな技術開発や応用につながる目的だ。委託研究を通じて、建築専攻の学生を育成する狙いもあるという。

加工鋼管を用いた立体トラスの鉛直荷重実験。岡山理科大の中西啓二教授らが、岡山県ドファブ・モリヤテクノから委託を受けて進めている立